



# 今と昔の歴史散歩

荒川シルバー大学  
2026/5/15

## 5月 飛鳥山公園

飛鳥山公園は江戸幕府、八代将軍「吉宗」が桜を植えて庶民に開放したことが始まりだとされています。その後、東京でも有数のお花見で賑わう一大公園になりました。そこに明治12年、渋沢栄一が来賓接待用の別荘を建てました。渋沢は明治34年からここに移り住み、91歳で亡くなるまで、本邸として使用しました。今でもいくつかの建物が当時のまま残っています。



音無親水公園は、とても涼しい溪谷でした



「しづさわくん」のマンホールはここです



晩香廬(賓客を迎える洋風茶室)



青淵文庫(ステンドグラスやタイルが美しい)

今回は「のんびり飛鳥山コース」「ぱっちり渋沢コース」「ぱりぱり渋沢コース」など5つのグループに分かれて歩きました。

各グループに「北区観光ボランティアガイド」に同行して頂き、案内してもらいました。



令和八年度最初は、お隣北区の飛鳥山公園を訪れました。子供達が小さい頃に遊びに連れて来た公園ですが「何度も来たのに初めて歴史を知った・知らずに通り過ぎていた・勉強になった・」という感想が多く聞かれました。